

●実施店舗：マルハンメガシティ2000蒲田7

実際にニューギン・アドバンス営業マンが交換作業をやってみました！

株式会社ニューギン・アドバンス
営業部 菊池 晃史 氏



① 設置中のスマスロ機を外す。



② 4本のビスおよび木枠(セルフリムーヴ)を外す。



③ 木枠を上下に反転。これにより木枠がスマスロ仕様からスマパチ仕様に。



⑤ スマパチ機を設置し、e⇄L切り替えが完了。所用時間は約3分。



④ 再び木枠及び4本のビスを取り付け。

必見!!
『セルフリムーヴ』
紹介動画



である。壁際のデッドスペースや利用頻度の低い景品棚など、有効活用しにくかった空間にも島を設置できる。例えば、休憩室を廃止して禁煙遊技エリアを設けた上で、既存の遊技機エリア全面を加熱式たばこエリア化するなど、ホールの状況に応じたレイアウト変更も自在だ。こうした柔軟性は、トレンドの移り変わりが激しい遊技機市場において、店舗づくりの自由度を高め、集客戦略の幅を広げる大きな強みとなっている。

また、その構造と信頼性の高さは業界内でも高く評価されている。一般社団法人日本iスポーツ機構が主催する遊技機入替作業の全国大会「i-1 GRAND-PRIX」では、競技用島として採用された実績を持ち、実用性と技術性の両面で優れた製品として地位を確立しつつある。

同社では、今後も稼働促進に繋がる島レイアウトや装飾提案に力を注ぎ、『セルフリムーヴ』を中心としたホール運営の新たな価値創出を目指していく。

セルフリムーヴ SELF REMOVE

特許取得済み

3つのZEROを実現

工期ゼロ

▶ 1台の変換作業に要する時間は
僅か3分足らず

保管部材ゼロ

▶ 変換作業に必要な
追加部材が不要

外注費ゼロ

▶ ホールスタッフでの変換が可能

1台わずか3分で
e⇄L切り替え完了

「はずして」「まわして」「くるりんぱ」(ひっくり返す)だけでe⇄L切り替えが完了——この手軽さが好評を博しているのが、(株)ニューギン・アドバンスのスマート遊技機専用島『セルフリムーヴ』だ。煩雑だった切り替え作業を簡素化し、ホール運営の効率化に大きく貢献している。

従来、P⇄S切り替えを行う際には、専用部材の保管や専門業者の手配、これに伴うコスト(1島あたり50万円程度)が発生していた。『セルフリムーヴ』はこうした費用や準備作業を不要とし、スタッフのみで1台あたりわずか3分という短時間で切り替えを実現する。

作業手順も明快だ。木枠を留めている4本のビスを外し、取

柔軟な島設計で
トレンド変化に対応

さらに同製品は、柔軟な島設計を可能にする点も大きな魅力



昨年12月に開かれた「i-1 GRAND-PRIX 日本シリーズ2024」。遊技機入替のスピードと精度を競うこの大会に、『セルフリムーヴ』が採用された。

P⇄S切り替えの常識変えるくるりんぱ

《マルハンメガシティ2000蒲田7》セルフリムーブ 導入レポート



「セルフリムーブ」は現在、スマスロコーナーとして運用中。上部に物置スペース、ユニット下に飲み物置き場を完備する。



《マルハンメガシティ2000蒲田7》(東京都大田区)。



白井哲朗店長

その運用面について白井店長は「セルフリムーブ」を含めトラブルが1件もありません。これまで複数の新店立ち上げに携わってききましたが、こうしたケースは初めてです」と高い信頼性を評価した。

同店の数十メートル圏内には、系列店の《マルハンメガシティ2000蒲田1》も営業している。「蒲田7」はパチスロ主体、「蒲田1」はパチンコ主体と役割を分けながらも、両店舗を一体運営の視点で捉え、エリア全体での営業強化を図る方針だ。

「連携して営業していく中では、時に臨機応変な機種戦略が求められます。その際、『セルフリムーブ』があれば即時対応が可能です。非常に心強い存在です」(白井店長)。

オープンから3ヵ月を経た今も稼働は好調で、連日多くのファンが足を運ぶ。「セルフリムーブ」の存在は、激戦区・蒲田エリアにおいて、同店の安定稼働と戦略展開を支える確かな切り札となっている。



前店舗時代に設置されていた賞品カウンターを撤去し、その場所に「セルフリムーブ」を32台(4列分)を設置。

トレンド転換を見据えて、先手

令和7年7月7日のグラントオープンで一躍注目を集めた《マルハンメガシティ2000蒲田7》。若年層を主なターゲットとする同店の特徴は、パチスロ715台、パチンコ292台という市場トレンドを反映したPS比率だ。前店舗時代よりもパチスロを60台増台。既存島の延長や2階カウンター跡地の遊技島化によって違和感なく再構成し、開放感と機能性を両立させた設計となっている。また、カウンターのオールセルフ化をはじめとする最新設備を導入し、利便性と快適性を高めた。

こうした設備群の中で、店舗の柔軟な運営を支えるのが(株)ニューギン・アドバンスのスマート遊技機専用島「セルフリムーブ」だ。

連日の高稼働
トラブル1件もなし

同店では「セルフリムーブ」以外の島も(株)ニューギン・アドバンス製品を採用。オープンから3ヵ月以上が経過した現在、

同製品は、「はずして」「まわして」「くるりんぱ(ひっくり返す)」という3ステップでP↕Sを切り替えられる可変島構造が特徴。専門業者を手配する必要がなく、1台あたりわずか3分で切り替えが完了する。

「セルフリムーブ」を導入した理由について、白井哲朗店長は「中長期的に見てパチンコ市場が再び活性化する可能性もあるため、柔軟に対応できる体制を整えたいと考えました。『セルフリムーブ』は簡便な構造で切替も早く、コスト面のメリットも大きい点を評価しました」と話す。

都内屈指の高稼働ホール《マルハンメガシティ2000蒲田7》。トレンド転換も見据えた「セルフリムーブ」導入など、営業面の死角なし。